

六甲ガーデンテラス 自然体感展望台 六甲枝垂れ



山の上での楽しい日々 Happy days on the mountain 鈴木なるみ Narumi SUZUKI

気 鋭のイラストレーターである作者は、商業美術の世界でも活躍するとともに独自の作品も広く展開しています。その作風は大和絵の絵巻のように全体が見渡せる画面に、さまざまな事物が描かれるものです。「人々と生きものの振る舞いが奇妙で可愛らしくあるように、また、空想の世界が素敵な空間であること(後略)」とは作者の言葉。

本展では実際の店舗全体をそうした世界観で作品化しました。店舗内にはイラストレーションの原画も展示されています。なお、本年8月に尼崎市で行われた展覧会「阪神なんば線ミーツ・アート in あまがさき Produced by 六甲ミーツ・アート 芸術散歩」に出品された作品「あまがさきの素敵なお話」が阪神電車尼崎駅構内に11月24日まで展示されています。ぜひご覧ください。



world tree II

植松琢磨 Takuma UEMATSU

今 年の六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2019 のメインビジュアルに使用されている作品です。自然科学や哲学に興味を持つ作者は、観察と思考を基に、さまざまな立体作品や映像作品を発表してきました。その作品群のエッセンスが積み重ねられ「木」として表現されています。宇宙から細胞、遺伝子レベルに至る自然や、そこに潜む法則性と流動性、またそれらの私たちの社会や思考の流れとの類似性が読み取れるようにも思える不思議な造形です。広く大阪湾の周囲に広がる雄大な風景のなかに置かれた本作品は、私たちが絶え間ない変化の流れの中にあることを知るための装置でもあります。



蜘蛛の糸 Spider thread

伏見雅之 Masayuki FUSHIMI

作者は光による様々な空間演出を手がけ、本展では2010年と2011年に次ぐ3回目の招待アーティストとしての出展です。環境を彩る作品は、LEDを用いながらも叙情性豊かな作品で、観光客を始め多くの人々の支持を得ています。本展では六甲枝垂れの光の演出の他に、新作の影絵作品をここで展開します。現在各地で見られる大規模なLEDを使ったメディアアートとは対極の、自作の投影装置によるオリジナルの物語がテルミンの音楽と共に建物に投影されます。素朴で暖かい映像作品をお楽しみください。



Lightscape in Rokko

伏見雅之 Masayuki FUSHIMI

作者は光による様々な空間演出を手がけています。環境を彩る作品は、LEDを用いながらも叙情性豊かな作品で、観光客を始め多くの人々の支持を得ています。また、昨年に引き続き、同じエリア内にある見晴らしの塔の周辺に招待アーティストとして光と影絵の作品を展開しています。六甲山の移ろう自然と共に楽しみください。



ヤンチョビ博士 Prof. Jancovic

岩城典子 Noriko IWAKI

帽子やジュエリー、服飾ブランドとのコラボアイテムの制作なども行う一方、巨大オブジェから小さな箱庭作品まで制作している作者。野外展示やモバイルと立体造形で構成されるインスタレーション展示など活動は多岐にわたります。やさしい色調で、おしゃれな作品が多い一方、頭部がプロペラの人や動物がしばしばモチーフに現れるなど、ユーモラスな味わいも作品の魅力です。大阪湾の絶景を望む場所に設置されたプロペラ人間、胸の中では光がやさしく明滅しています。景色が望めないほど霧で覆われたときは、その光がより愛おしく感じられます。何かを考えているような不思議な造形です。



航路-Distance- Sea Route -Distance-

大畑幸恵 Yukie OHATA

大 小のアコヤガイ（真珠貝）で作られた船が建物の内外に展開されたインスタレーションです。作者は真珠養殖に使われるこの素材を、海と人の関係の象徴として捉えてその繊細さを創作表現に取り込んでいます。まるで海の広大さ、荒々しさ、豊かさを内包したダイナミックな在り方に対して人の営みの繊細さが表されているようにも思えます。また、本展示では海の表情が変わることに呼応するように屋外、半屋外、室内と場所を変えて船が展示されています。六甲山から眺める海とアコヤガイの船が浮かぶ海。自然と表現の双方をお楽しみください。



シンカイノヨーカイ submarine monsters

ヒロセガイ GuyHIROSE

六 甲ミーツ・アート 芸術散歩との関わりが深く、六甲山の自然や文化を最もよく知るアーティストかも知れません。自身の表現活動と並行して、多くのアーティストの表現活動に関わり、多大な信頼を得ている存在です。阪神間を拠点としながら、自身を取り巻く環境や偶然出会った鑑賞者も含めたすべてを「作品」と捉え、近年はネパールレストラン「Art&Nepal」の運営などを通じて食とアート繋ぐ活動も精力的に行っています。本展ではその食に関わる行為として、アートな屋台を立体造形として展開しました。眺望や夜景を肴に、目と舌でアーティストを味わってください。



私が生まれました I was born

YOSHIHIRO MIKAMI + HAJIME YOSHIDA

プ ロダクトデザイナーと建築家によって新しく結成されたユニットによる作品です。地面には綿密に計画された大きさと形状の穴が掘られています。非常にシンプルな構造ですが、作家滞在時には鑑賞者がなかに入ることができるようになっています。自然の地形を活かして、自然そのものを感じるように促したり、地勢を変化させるような作品をアースワーク、ランドアートなどと呼びますが、本作品もその流れに入るものです。作品を見る、作品に入る、視点を変えることによって鑑賞の対象にも、新しい体験の装置にもなる作品です。